

大磯町郷土資料館

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯446-1
 電話番号 0463-61-4700
 ブログ 大磯町郷土資料館ノート
<http://sen-net.easymyweb.jp/member/oisomuseum>

ひと目でわかる 大磯海水浴場の歴史

1750年 英国発「海水浴場」

英国人医師「マッセン」 「肺病に効く海水の重要性について」
 (Dissertation on the Use of Sea Water in the Affections
 Of the Glands) を著し、海水浴の効果を提唱。
 プライトンを療養地と認め、これを「グランド・ブライトン」
 において海水浴が盛んに行われるようになる。



英国地図



19世紀初頭 イギリスにおける海水浴場

1857年～1862年 日本で知られ始める海水浴

長崎留学中の松本良順、開港場へにより紹介された林洞海訳
 のワートル著「薬性論」で海水浴の効果を知る。

「薬性論」一部抜粋 現代語訳
 海水浴は喉痛の一要素である。その効果は多
 く食塩に由来する。(中略)
 古人は海水を良薬として用いていたが、今ま
 には禁止して用いていなかった。だが、いま
 たオランダ沿海の村落スケベニンゲン及びマ
 ントフォールトにおいて、海水浴の有効性が
 明えられたことにより、再び世間で大に行
 われることとなった。



「薬性論」

1872年 海水浴事情の観察

岩倉使節団(1871.12出発-1873.9帰国)・ブライトン
 を視察。ブライトンの地形環境、海水浴地としての歴史を学ぶ。



岩倉使節団 (サンフランシスコにて撮影)
 左から木戸孝允、山口尚芳、
 岩倉具視、伊藤博文、大久保利通

久米邦武編「米歐回覧実記」一部抜粋 現代語訳
 海水浴を行い皮膚を鍛えるのが健康を保つよい療法
 であることを、ある医師(ラッセル)が発見したこと
 がブライトンの繁栄につながった。

1885年 大磯海水浴場の開港

松本良順により大磯海水浴場が開かれる。

1887年 施設を整備

大磯駅開業。これにより海水浴客が著しく増加する。
 (この頃、政財界の著名人たちがこぞって大磯に別荘を建て始める)



1887年 大衆向けの海水浴場

松本良順発案による海水浴客のための旅館兼診療所、
 綿間館が大磯・照ヶ崎に開業する。



綿間館(「綿間館繁栄之図」)



松本良順医師



昭和初期ごろの絵はがき
 「大磯名勝 大磯ステーション」

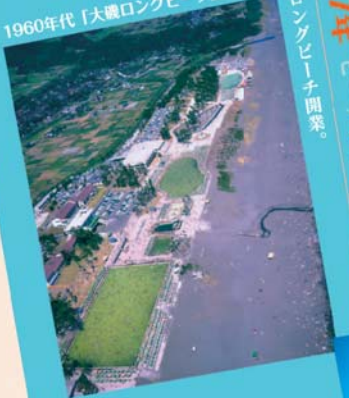


「昭和初期ごろの絵はがき
 「大磯 照ヶ崎海水浴場」

1957年 レーナーリゾートの近代化

大磯ロングビーチ開業。

1960年代「大磯ロングビーチ」



大磯海水浴場の今



大磯プリンスホテル

- 開館時間 午前9時から午後4時30分まで(ただし、入館は午後4時まで)
- 休館日 月曜日・毎月1日・年末年始(12月29日～1月4日)
 ※ただし、月曜日が祝日の場合は開館とし、翌日休館
- 入館料 無料(企画展は有料の場合あり)

■JR東海道線「大磯駅」下車
 徒歩:約30分(約2km)
 バス:「二宮駅行」・「国府津駅行」
 湘南大磯住宅行
 城山公園前下車徒歩五分

